

西東京市立東伏見小学校

校長 中嶋 太

西東京市東伏見6-1-28

Tel 042-463-4517

かけはし



学校HP

サポートの要点「かける」

校長 中嶋 太

ミラノ・コルティナ冬季オリンピックが、すがすがしい笑顔と共に幕を閉じました。今回の冬のオリンピックで、日本は、24個のメダルを獲得したといいます。前回北京冬季オリンピックを超える、史上最高の成績だったそうです。受賞された方のインタビューに共通する言葉が、感謝の想いです。家族やコーチ、応援してくれた方への熱い気持ちが、入賞の感激と同時に込み上げていました。多くのサポートあつての栄誉であることが伝わってきます。

さて、2月17日（火）に入学説明会を実施しました。4月に入学する保護者の皆さんを対象とした保護者会です。冒頭の校長挨拶で、①プラス志向のお願い、②登下校での安全のお願い、③サポートの要点「かける」のお願いについて話をしました。ここでは、サポートの要点「かける」について言及させていただきます。「かける」といっても、かけっこやかけ算、書字などではありません。「手をかける」、「声をかける」、「目をかける」の3つの「かける」のことです。「手をかける」とは、やってみせたり、一緒にやってみたりするなど、一般的に行動が伴うものです。例えば、入学時の登下校支援です。2・3日で終了する場合があります。2・3週間の場合もあります。お子さんによっては、2・3か月に及ぶ場合もあるかもしれません。また、「声をかける」とは、一般的に子どもに意識してもらいたくて取る行動です。例えば、連絡帳等を確実に先生に提出してほしかったり、学校からの手紙を忘れず持ち帰ってほしかったりするとき、漏れや落ちがないように発する場合です。多くの場合、学校生活に慣れることで改善されます。注意喚起ではなく、「褒める」「認める」など賞賛や容認として用いることで、自主的な行動へとつなぐこともできます。さらに、「目をかける」とは、子どものことを想って、好意的に見守ることです。例えば、宿題等があったときにすすんで取り組んでいるか、様子を伺うことです。いずれの「かける」も、子どもが自立するための一時的なサポートであることに違いはありません。また、時と場合によって異なったり、お子さんの実態に応じて千差万別だったりすることも同様です。大切なことは、子どもの姿をよく見て、その時必要な「かける」をかけることです。ところで、「かける」には、もう一つの「かける」があります。それは、3つの「かける」の基盤となる、「気にかける」です。「心にかける」とも言いましょ。う。「気にかける」とは、子どもの行動・成長に思いを寄せたり、心にとめたりすることです。中学生の子どもに手をかけたり、繰り返し声をかけたりすると疎ましがられることがあります。が、「気にかける」対象は年齢を問いません。いつ・どこでもできるという意味では、時間や場所を問いません。

入学説明会での話題を学校便りで紹介させていただいたのは、このことが1年生に限ったことではないからです。サポートの要点「かける」は、上の学年の子どもたちにも当然のごとく当てはまります。さらには、企業での社員教育にもつながります。重要なことは、相手が上手に適応したり、自主的に成長したりできるように支援することです。お子さんの未来に想いをかけ、時間をかけてじっくりと臨んでいきましょう。よろしくお願いたします。

★3月 生活目標 新しい学年を迎える準備をしよう

いよいよ今年度もあと1か月。各学級で今の学年のまとめをするとともに、新しい学年への準備が始まります。これまで使っていた教室の机、ロッカーなど感謝の気持ちを込めて丁寧に掃除をし、気持ち良く次の学年へ引き継ぐことができるよう指導してまいります。

また、学校に置いてある物も計画的に持ち帰ります。ご家庭でもご確認いただき、足りないものの補充や記名等、来年度に向けての準備をお願いします。

生活指導部

11 住み続けられるまちづくりを



